

**令和4年度 第1回守口市人権尊重のまちづくり審議会
～審議会委員からの意見について～**

全 般についての意見
1つ1つの施策に対しての状況、評価、方針等をPDCAに則って行っていくとのことであるが、全体でAの評価が多い。実施した施策に対し、担当課が評価を行い、Aをつけることが気になった。
評価の在り方で、何の基準もない、ただ単に担当課で判断をしている、評価がおかしいという指摘がなければ見直しができない評価の在り方でいいのか。評価だけが漠然としていないような在り方を今後、検討していただきたいと思う。
評価は良いことだけではなく、反省点、課題点を併せて書いたらどうか。良い評価で終わると、次にまたサイクルでPに戻らないといけないのに、評価がAだから変えなくていいのかという話になるので、次の年には、より良くなるためにはこういう部分を改善して、今度のプランにはここが違う、去年と違うということが示されるべきである。
職員の人権意識の向上に、管理職等がリボンを着用して啓発を行うことが明記されているが、見えづらい。市の職員は、リボン運動をやっている事を、来庁される市民にも知ってもらうことが効果的だと思うので、積極的に運動に取り組んでいけばと思う。

1. 女性の人権 についての意見
デート DV 等を周知し、未然に防ぐためにデート DV のリーフレットを紙媒体の配布からタブレット端末への配信に変更し、ICT 化で効率が良いものになっているが、生徒がどれだけ見ているのかなど、方法を変えたときに効果をどう図るのかを追跡してほしい。

2. 子どもの人権 についての意見
守口市はSNSもホームページも使って広報活動をしているということですが、世代により情報収集の仕方は異なると思います。若い人はSNS中心、高齢の人は、やはり紙媒体で、ホームページも見なかったりもあると思います。例えば相談とかイベントに参加した人が、どのように情報を取得したのかをアンケートで調べたり、対象者に今後の方法をどうしたらいいかを考えてもらう方法もあると感じた。
実際に守口でどのような虐待があったのか、件数がどうであったかの表記がされていない。具体的にこういうことがあったということを我々も知ることによって、防止策が浮かんでくるのではと思う。プライバシーのこともあり難しい問題だが、より進展させるには、踏み込んだ施策を展開する必要があると感じた。
子どもの人権で、すごく良い目標を立てているが、子どもの実態がこの表記からは見えてこない。不登校の子どもたちが、人権について困った環境に置かれていないか危惧をする。できれば教育委員会で考えいただきたい。

3. 高齢者の人権 についての意見

高齢者の人権で、成年後見人制度が表記されている。現場では、高齢者の人権擁護の裏に、虐待がひっついていることが非常に多い。施策の中に虐待も入れて、人権擁護の実現ができれば、非常に良いと思う。

4. 障がい者の人権 についての意見

障がいのある子どもたちに対して学校の人員配置が少ないように聞く。そういう方々への配置等、人的追加を行っていかないと障がいのある子どもたちへの対応ができないと思う。

障がい者の人権に関して、B評価で受講人数が伸び悩んでいると表記しているが、講演会等のポスターを作る際は「こんなことを御存じでしたか」みたいなキャッチコピーを入れると、受講してみよう、というきっかけになるのではないかな。

受講者のアンケートの、意見を活用して啓発に取り組み、実際にやってきたことをフィードバックして次につなげ、新たな啓発活動に取り組んでいけばと思う。

これだけ良い人権の会議があるのに、我々、当事者まで届いていないように感じる。各委員から人権についての意見を聞かせてもらったが、実感していないと感じる。

7. 性的少数者の人権 についての意見

LGBTQに関する内容を取り上げるのは、とてもハードルが高いと思うが、実際に今、苦しんでいる方にとっては、世の中が変わってきていると聞く。難しい問題も山積されていると思うが、広報等を通じた啓発活動を今後も続けていけばと思った。

8. さまざまな人権問題 についての意見

被害者も当然ケアをしていかなければならないが、刑を終えた方も、当然支えなければならぬ。加害者の家族も社会から様々な目に見えない苦労とか大変な思いをしている。今後は、気にかけて、より広く明るく社会を作っていけるようにと思う。